

aD5

Electronic Drums

EN

JA

DE

FR

IT

ES

PT

NL

DA

ZH

クイック スタート ガイド
for Ver 1.3

Welcome.

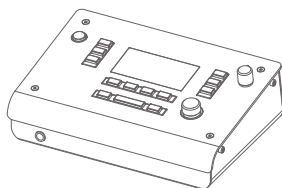
■ 目次

パッキング・リスト	3
スタンド・アダプターの取付け	3
トップ・パネル	4
リア・パネル	5
1 準備	6
オーディオ	6
パッド	6
aD5 のトリガー入力と対応するゾーン	7
電源を入れる	8
電源を切る	8
自動的に電源を切る（オート・パワー・オフ）	8
トリガーの設定	8
2 演奏する	11
ホーム画面	11
演奏する	11
インストを変更する	12
ドラム・キットを切り換える	12
3 詳しい情報	13
機能の詳細	13
仕様	13
サポート	13
4 重要なお知らせ	14
安全性に関する重要な情報	14
取り扱いに関する重要な情報	15

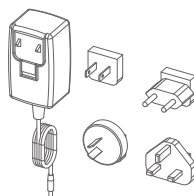
aD5 をご使用になる前に、「4 重要なお知らせ」（p.14）をお読みください。

■ パッキング・リスト

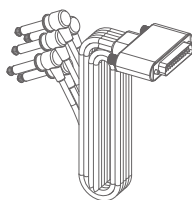
本製品には次のものが含まれています。



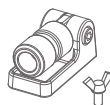
aD5 本体



AC アダプター



マルチトリガー・ケーブル



スタンド・アダプター

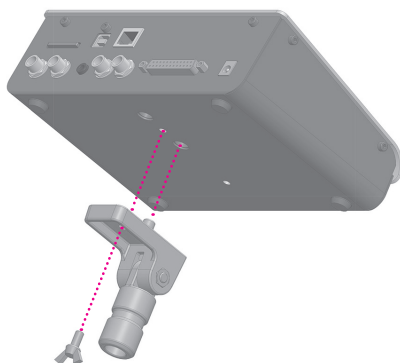


クイック スタート ガイド (本書)

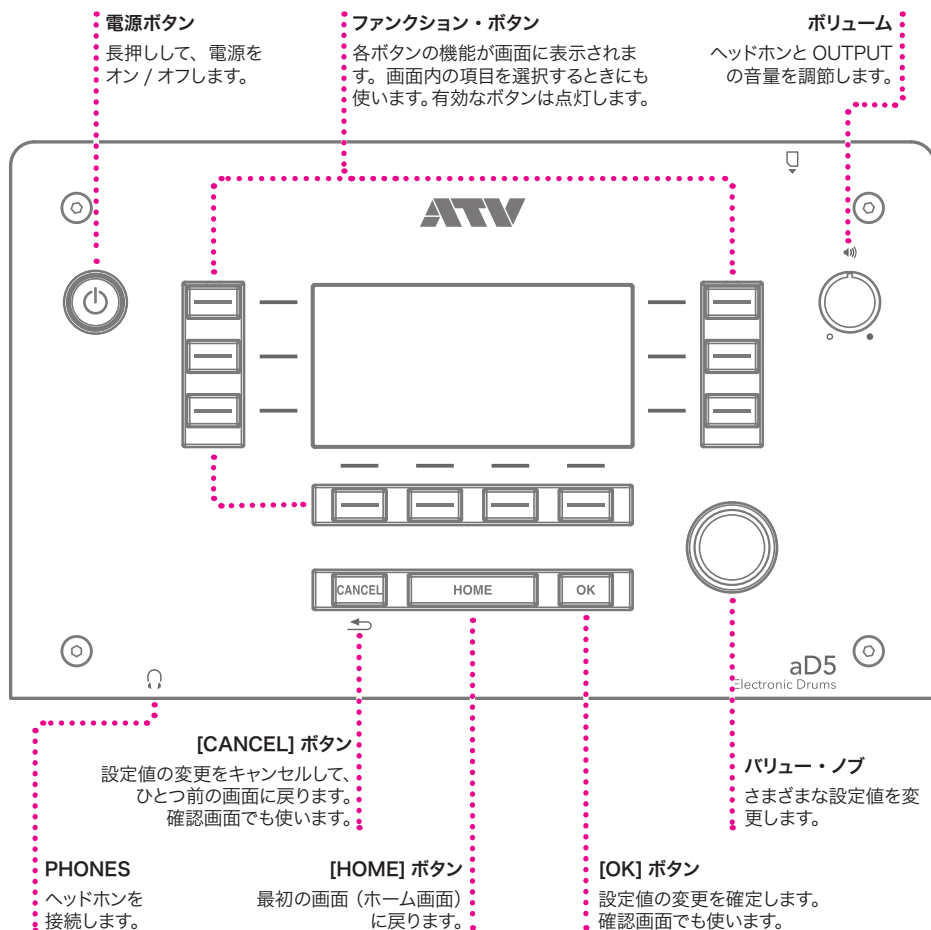
■ スタンド・アダプターの取付け

aD5 をスタンドにマウントするときは、付属のスタンド・アダプターを aD5 底面に取付けネジで固定します。

マイク・スタンドに取り付けることもできます。
aD5 底面のマイク・スタンド取付け穴 (W3/8) を使います。

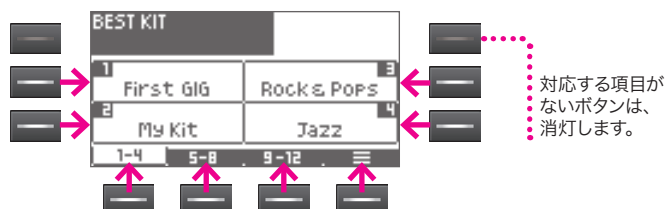


■ トップ・パネル



ファンクション・ボタンについて

ファンクション・ボタンは、画面上の、対応する項目や機能を選択するのに使います。



■ リア・パネル

USB

Mac や Windows PC と接続して、MIDI 信号を送受信できます。
USB 2.0 用のケーブルを使用します。

SD CARD

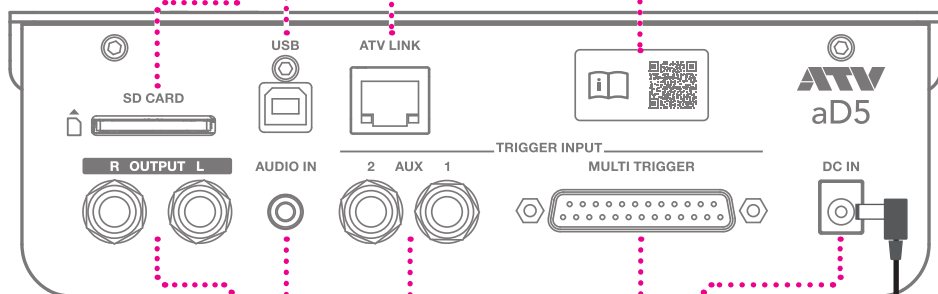
aD5 のデータをバックアップしたり、サウンド・データを取り込んだりできます。
32GB までの SD/SDHC カードに対応しています。

ATV LINK

現在は機能しません。
ファームウェア・アップデートにより、他の機器と接続できるようになる予定です。

QR コード

ATV ウェブサイト上のマニュアルや最新ファームウェア、サウンド・データにアクセスできます。



OUTPUT

オーディオ信号を出力します。パワード・スピーカーやミキサーを接続します。

AUX 1, 2

追加のパッドを接続して、ドラム・キットを拡張します。

DC IN

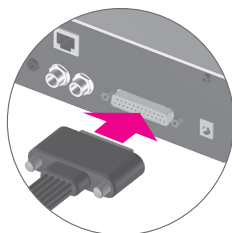
付属の AC アダプターを接続します。

AUDIO IN

ミュージック・プレーヤーを接続します。aD5 のオーディオとミックスして聴くことができます。

MULTI TRIGGER

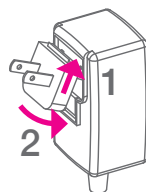
付属のマルチトリガー・ケーブルを接続して、パッドのトリガー信号を入力します。



AC アダプターについて

AC アダプターは、世界各国で使用できます。
各国のアウトレット形状に合わせて、付属のプラグを装着してください。

※ 必ず付属の AC アダプターとプラグをご使用ください。



1 準備

aD5 をお使いいただくためには、次のものがが必要です。

■ オーディオ

- ・ ヘッドホンまたはパワード・スピーカーなど
- ・ PC/ タブレットのヘッドホン・ポートと AUDIO IN を接続すると、曲に合わせて演奏できます。



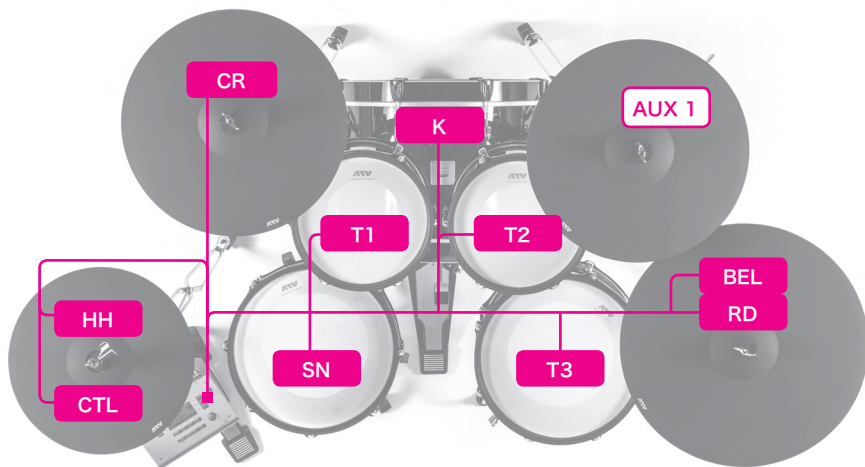
■ パッド

- ・ aDrums シリーズのドラム、シンバル。または対応する他社製パッド。
- ・ スタンド類、ドラム・スティック、キック・ペダル、ドラム・スローンなど

aD5 のマルチトリガー・ケーブルと、各パッドを接続します。
マルチトリガー・ケーブルの各プラグに書かれている接続先を確認し、図を参考に接続します。

※ AUX 1、AUX 2 は、各パッドに付属または市販のステレオケーブルで接続してください。

※ aDrums aD-H14 ハイハットをご使用の場合は、付属の AC アダプターも接続します。詳しくは aD-H14 の取扱説明書をご覧ください。



■ aD5 のトリガー入力と対応するゾーン

aD5 トリガー入力	対応するゾーン	チョーク 奏法	特記事項
KICK (K)	Head		
SNARE (SN)	Head, Rim	○	・ aDrums aD-S13 スネアドラムのサイドリムに対応。 ・ シンバル・パッド接続時、チョーク奏法に対応。
TOM 1 (T1)	Head		
TOM 2 (T2)	Head		・ aDrums aD-T10/T13 のリムには対応していません。
TOM 3 (T3)	Head		
HIHAT (HH)	Bow, Edge	○	・ aDrums aD-H14 ハイハットの BELL(CUP) には対応していません。EDGE ジャックのみ接続します。
CRASH (CR)	Bow, Edge	○	・ aDrums aD-C14/C16/C18 シンバルの BELL(CUP) には対応していません。EDGE ジャックのみ接続します。
RIDE (RD)	Bow, Edge, Cup	○	・ aDrums aD-C14/C16/C18 シンバルの BELL(CUP) に対応。 RD/BEL 両プラグを接続します。
AUX 1	Head, Rim (Bow, Edge)	○	・ aDrums aD-S13、aD-T10、aD-T13 のリムに対応。 ・ aDrums aD-S13 スネアドラムのサイドリムには対応していません。
AUX 2	Head, Rim (Bow, Edge)	○	・ aDrums aD-C14/C16/C18 シンバルの EDGE または BELL ジャックに接続します。

※ CTL プラグは、ハイハット・コントロール・ペダル、またはハイハットの開閉センサーに接続します。

※ 未接続のマルチトリガー・ケーブルのプラグは、金属に触れると誤発音の原因になります。テープなどでプラグを保護してください。

対応する他社製パッド / ハイハット・コントロール・ペダル

対応する他社製のパッド、ハイハット・コントロール・ペダルについては、『対応パッド リスト』PDF をご覧ください。

『対応パッド リスト』PDF は、以下の URL よりダウンロードできます。



<http://products.atvcorporation.com/drums/ad5/>

※ 各社パッドの接続や奏法については、各社パッドの取扱説明書をご覧ください。

※ ローランド社製マルチトリガー・ケーブルは、aD5 では正しく動作しません。

■ 電源を入れる

1 接続しているアンプやスピーカーの音量を下げます。

2 aD5 の電源ボタンを長押しします。

電源が入ります。

■ 電源を切る

1 接続しているアンプやスピーカーの音量を下げます。

2 aD5 の電源ボタンを長押しします。

電源が切れます。

すべての設定は保存されます。

※ 電源を切らずに AC アダプターを抜くと、故障の原因になります。必ず電源ボタンを押して、電源を切ってください。

■ 自動的に電源を切る（オート・パワー・オフ）

aD5 は、30 分以上演奏や操作が行われないと、自動的に電源を切って消費電力を削減します。この機能は、無効にすることもできます。詳しくは「リファレンス ガイド」PDF をご覧ください（p.13）。

■ トリガーの設定

はじめて使うときや、パッドの種類を変更したときは、トリガーの設定が必要です。パッドのセンサー情報を正しく処理し、aD5 の演奏性能を最大限に引き出します。

次の 3 つの項目について、設定が必要です。

※ aDrums artist <Standard Set>、<Expanded Set> をご購入の場合

aD5 工場出荷時に、すでに標準的なトリガー設定に調整されています。必要に応じてクロストーク・キャンセル設定やハイハット・コントロール・ペダルの調節をしてください。

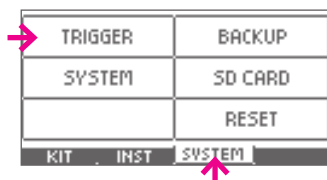
<1> クロストーク・キャンセル設定 (p.9)	パッドを叩いた衝撃が、他のパッドに伝わって誤発音する「クロストーク」を防止します。クロストーク・キャンセル・ウィザードに従って各パッドを叩くだけで、設定が完了します。
<2> 各パッドのトリガー設定 (p.10)	パッドのセンサー出力を正確に音に反映できるように、ご使用のパッドの特性を設定します。各パッドのモデル名を選択するだけで、標準的な特性に設定されます。
<3> ハイハット・コントロール・ペダルの調節 (p.10)	ハイハット・コントロール・ペダルが正しく動作するように調節します。

<1> クロストーク・キャンセル設定

- 1 [HOME] ボタンを押し、[≡]を押します。



- 2 [SYSTEM] タブを選び、[TRIGGER]を押します。



- 3 [Crosstalk Cancel Wizard]を押します。



- 4 画面の案内に従い、指示されたパッドを強く3回叩きます。



※ [RETRY] を押すと、これまでの打撃が消去されます。

- 5 「OK」が表示されたら、[NEXT]を押して次へ進みます。

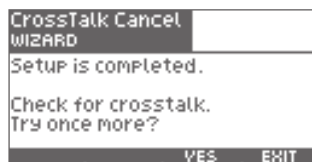
- 6 同様に、ステップ4～5を繰り返します。

aD5 は、接続されているすべてのパッドのクロストーク状態を計測します。

※ スネア・パッドは、リムショットで叩くことをお勧めします。

※ 指示されたパッドが接続されていない場合は、[SKIP]を押します。

- 7 下の画面が表示されたら、試奏してクロストークがないことを確認し、[EXIT]を押します。



※ クロストークがある場合は、[YES]を押して、もう一度ウィザードを繰り返します。

<2> 各パッドのトリガー設定

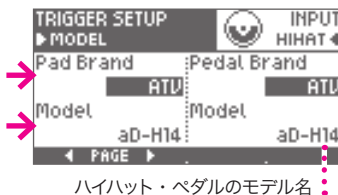
- 1 ホーム画面で、[三三]を押します。
- 2 [SYSTEM] タブを選び、[TRIGGER] を押します。
- 3 [PAGE ▶] を押します。
MODEL ページが表示されます。



- 4 設定したいパッドを叩いて選びます。

- 5 [Pad Brand] を押してメーカー名を選び、[Model] を押してパッドのモデル名を選択します。

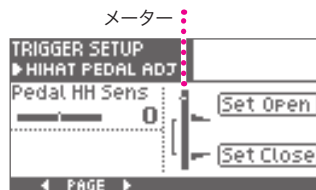
※ ハイハットのパッドを設定するときは、必要に応じてハイハット・ペダルのモデル名も設定します。



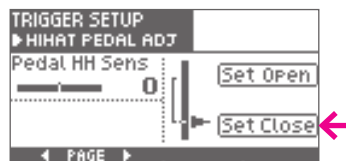
- 6 ステップ4～5を繰り返して、すべてのパッドを設定します。
- 7 [OK] ボタンを押して、変更を確定します。
変更を中止する場合は、[CANCEL] ボタンを押します。

<3> ハイハット・コントロール・ペダルの調節

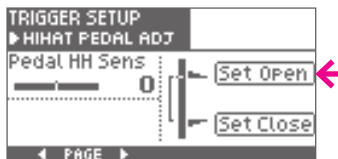
- 1 ホーム画面で、[三三]を押します。
- 2 [SYSTEM] タブを選び、[TRIGGER] を押します。
- 3 [PAGE ▶] を何回か押して、HIHAT PEDAL ADJ ページへ移動します。



- 4 ペダルをクローズ位置まで踏み込んで、[Set Close] を押します。

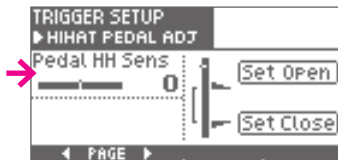


- 5 ペダルから足を外して、[Set Open] を押します。



※ aDrums aD-H14 ハイハットをお使いの場合は、この操作は不要です。

- 6 [Pedal HH Sens] を押して、フット・クローズ、フット・スプラッシュの音量を調節します。



- 7 [OK] ボタンを押して、変更を確定します。
変更を中止する場合は、[CANCEL] ボタンを押します。

2 演奏する

■ ホーム画面

電源を入れたあとに表示される画面が、ホーム画面です。
どこの画面からでも [HOME] ボタンを押すと、ホーム画面に戻ります。
ドラムを演奏するときは、必ずホーム画面を表示させます。



インスタ

スネア・ドラム、ライド・シンバルといった、各パッドで鳴らす楽器を「インスタ」といいます。パッドごとにインスタを変更することができます。

インスタ・グループ

aD5 には数多くのインスタが記憶されています。インスタは種類ごとに、インスタ・グループとしてまとめられています。

ドラム・キット

すべてのパッドをまとめたものを、「ドラム・キット」といいます。ジャズ用、ロック用といったドラム・キットの種類を切り換えると、各パッドのインスタを一括して変更することができます。

■ 演奏する

パッドを叩くと音が鳴ります。叩く強さに応じて、音が自然に変化します。
画面には、叩いたパッドのインスタが表示されます。

クローズド・リムショット（サイドスティック）

スネア・パッドでクローズド・リムショットをするには、[SIDE STK] をオンにします。リムショットとクローズド・リムショットを切り換えることができます。

※ aDrums aD-S13 スネアドラムをお使いの場合は表示されません。サイドリムを叩けばいつでもクローズド・リムショット奏法が可能です。

■ インストを変更する

例えばスネア・パッドのインストを、他のスネア・ドラムに変更します。

1 スネア・パッドを叩きます。

画面にスネアのインストが表示されます。

2 [INST] を押します。



INST ASSIGN 画面が表示されます。

3 バリューストックまたは [▲][▼] でインストを変更します。



スネア・パッドを叩いて音を確認します。

4 [OK] ボタンを押して、変更を確認します。

変更したくない場合は、[CANCEL] ボタンを押します。

他のパッドのインストも、同様に変更することができます。

■ ドラム・キットを切り換える

ドラム・キットを切り換えると、すべてのパッドのインストをまとめて変更できます。
aD5 にはあらかじめ、いくつかのドラム・キットが登録されています。

1 [KIT] を押します。



KIT SELECT 画面が表示されます。

2 ファンクション・ボタンで、いずれかのキットを選びます。



- ・ [PAGE ▶] で次のページを表示します。
- ・ [GROUP] でキット・グループを変更できます。ALL を選択すると、すべてのドラム・キットが表示されます。

ホーム画面が表示され、ドラム・キットが読み込まれます。

※ ドラム・キットの読み込みには、5 秒程度かかります。

3 詳しい情報

■ 機能の詳細

aD5 には、ほかにもさまざまな機能があります。

詳しい情報、機能の詳細説明については、「リファレンス ガイド」PDF をご覧ください。
「リファレンス ガイド」PDF は、以下の URL よりダウンロードできます。



<http://products.atvcorporation.com/drums/ad5/>

■ 仕様

Electronic Drum Sound Module

Model: aD5

項目	仕様
接続端子 / インターフェース	OUTPUT L/R: モノラル標準フォン x2
	PHONES: ステレオ標準フォン
	AUDIO IN: ステレオ・ミニ・フォン
	MULTI TRIGGER INPUT: 専用マルチコネクタ
	AUX TRIGGER INPUT 1/2: TRS 標準フォン
	USB: 2.0 Type B コネクタ (High Speed)
	ATV LINK: RJ45 LAN コネクタ
	SD CARD: SD/SDHC カード
電源	DC 12 V
消費電流	600 mA
外形寸法	197 (W) x 144 (D) x 73 (H) mm
質量	1.1 kg

※ 製品の仕様や外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

■ サポート

・ FAQ、ファームウェア・アップデート、その他の情報については、以下の URL よりご覧ください。



<http://products.atvcorporation.com/drums/ad5/>

4 重要なお知らせ

■ 安全性に関する重要な情報

以下の安全性に関する指示を守らないと、火災、感電、負傷、または aD5 やほかの物品 / 財産への損害を招くおそれがあります。

aD5 をご使用になる前に、必ず以下の安全性に関する情報をすべてお読みください。

記号について

	「ご注意ください」：注意喚起
	「～しないでください」：禁止
	「必ず実行してください」：強制

警告と注意について

	警告	死亡する可能性または重傷を負う可能性のある内容
	注意	傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性のある内容

警告	
	分解、改造禁止 この製品を分解したり改造したりしない。
	次のような場所で使用、保管はしない - 温度が高い場所（直射日光の当たる場所、暖房機器の近く） - 水気のある場所、湿度の高い場所（風呂場、濡れた床など） - 塩害の恐れがある場所 - 水や雨のかかる場所 - ほこりの多い場所
	電源コードを傷つけない 電源コードを無理に曲げたり、傷つけたりしない。電源コードの上に重いものをのせない。電源コードが破損し、火災や感電の原因になります。
	付属の AC アダプターを使用する AC アダプターは、必ず付属のものを使用する。電源は、決められた電圧で使用する。
	異常や故障が生じたときは電源を切る 次のような場合は、直ちに電源を切って AC アダプターをコンセントから抜き、お買い上げ店または ATV に修理を依頼する。 - AC アダプター、電源コード、プラグが破損した場合 - 煙が出たり、臭いが出たりした場合 - 異物や液体が内部に入った場合 - 機器に異常や故障が生じた場合
	落としたり、強い衝撃を与えたりしない この製品を落としたり、強い衝撃を与えない。
	濡れた手で AC アダプターを抜き差ししない 感電のおそれがあります。

注意	
	電源プラグを持って抜き差しする AC アダプターを機器本体やコンセントに抜き差しするときは、必ず電源プラグを持つ。
	たこ足配線はしない コンセント部が異常発熱して、火災の原因になります。
	電源プラグにほこりが付着している場合は、ほこりをきれいに拭き取る 感電やショートのおそれがあります。
	長期間使用しないときや落雷のおそれがあるときは、必ずコンセントから電源プラグを抜く 感電や火災、故障の原因になることがあります。
	本体を移動するときはすべての接続をはずす 電源コードやケーブルを破損したり、人がケーブルにつまづいて転倒したりすることがあります。
	不安定な場所に置かない 本体が転倒して故障したり、人がけがをしたりする原因になります。
	本体の上ののったり重いものをのせたりしない 本体が破損する原因になります。また、ボタン、ノブ、入出力端子などに過度の力を加えないでください。故障の原因になります。
	大音量で長時間使用しない スピーカーやヘッドホンで大音量で長時間使用すると、聴力障害の原因になります。
	本体の取り扱いに注意する 角部や隙間で、手や指をけがするおそれがあります。
	小さな部品はお子様の手の届かない所に置く 小さな部品はお子様が悪戯って飲み込んだりすることのないよう手の届かない所に保管してください。

■ 取り扱いに関する重要な情報

設置

- ・ テレビやラジオ、ステレオ、携帯電話など、ほかの電気製品の近くで使用しないでください。この製品またはテレビやラジオなどに雑音が生じる原因になります。
- ・ 直射日光のあたる場所、日中の車内、ストーブの近くなど、極端に温度が高くなるところで使用しないでください。本体が変形、変色したり、内部の部品が故障する原因になります。

電源

- ・ 電源オフの状態でも微電流が流れています。この製品を長時間使用しないときは、必ず AC アダプターをコンセントから抜いてください。

お手入れ

- ・ お手入れには、乾いた柔らかい布をご使用ください。ベンジンやシンナー、洗剤、化学ぞうきんなどは、変色 / 変質の原因になりますので、使用しないでください。

データ

- ・ データが破損したり失われたりした場合の補償はいたしません。ご了承ください。
- ・ 機器の故障や誤った操作などによって、記憶した内容が失われることがあります。大切な記憶内容はバックアップしてください。

著作権

- ・ ATV 株式会社および第三者から提供されている音楽 / サウンドデータは、権利者に無断で複製または転用することを禁じられています。（私的使用のための複製など著作権法上問題にならない場合を除く）
- ・ 製品に内蔵または付属されたコンテンツ（サウンドデータ、フレーズデータ、オーディオデータ、画像データ、コンピュータープログラムなど）の著作権は当社が保有しています。ATV 株式会社の許諾なく、個人的な使用の範囲を超えて上記コンテンツを使用することは、著作権法等に基づき、許可されていません。
- ・ 製品に内蔵または付属された上記コンテンツを、そのまま、もしくは酷似した形態で、再販、配布、公開することはできません。ただし、この製品でエクスポートしたサウンドデータを無償で公開する場合は、この限りではありません。

ライセンス

- ・ ヤマハ株式会社製 3 ゾーンパッドへの対応は、ヤマハ株式会社よりライセンスを受けて実装しています。

本書

- ・ 本書に掲載されているイラストや画面は、すべて操作説明のためのものであり、実際の仕様と異なる場合があります。
- ・ MIDI は社団法人音楽電子事業協会 (AMEI) の登録商標です。
- ・ 本書に記載されている会社名および製品名などは、各社の登録商標または商標です。
- ・ 製品保証期間はお買い上げより 1 年です。お買い上げ日を証明する領収証 / 納品書が必要です。詳しい保証規定については弊社 web サイトをご覧ください。
www.atvcorporation.com/support/warranty/

aDrums

www.atvcorporation.com